

凡例

一八 五箇山関係参考文献・

図書目録

一 ここに掲載する文献資料は、五箇山に関する記述のある印刷行物および、五箇山を研究対象とした出版物などである。

一 これらのすべては平村史編纂の資料とみなしてよいほど、

村史の不備を補い理解を深めるにふさわしい参考文献である。

一 なかでも主要な文献資料や研究物には、目次を挙げるか、

または、解説を加えて紹介した。

一 掲載に当つては、研究の進展と利用の便を考慮して、図書

分類法に拠らず、テーマによつて分類した。

一 著作者名には敬称を付けなかつた。氏名の下に著とあるのは、本の体裁や内容を著書とみたからである。

1 総論・目録

- 五箇山誌稿 高桑敬親著（自刊昭16）
 五箇山風土記 高桑敬親著（自刊昭20）
 五箇山誌 高桑敬親著（自刊昭26）
 五箇山管見 米沢康（民芸第79号昭30）

- 五箇山と白川郷 米沢康（月刊北日本6—9昭31）
 五箇山と北九州 米沢康（北日本新聞昭31、6、15）

- 五箇山の成立 米沢康（北日本新聞昭31、9、26）
 川上千郷と五箇山 米沢康（北日本新聞昭32、3、22）

- 越中五箇山（写真集） 平村・上平村編（刊昭33昭41昭47）

五箇山誌—歴史的背景

- 高桑敬親（五箇山総合調査報告書 富山県教育委員会刊昭33）
 田向の歴史 佐渡政之著（自稿昭36）
 五箇山研究ノート 米沢康著（越飛文化研究会刊昭37）

著者（西勝寺住職越飛文化研究会主宰）の五箇山研究論稿

のうちから、基底となるテーマの分を選択して刊行されたものである。全編にわたって著者の探究的史観がうかがわれ、五箇山研究の指標を提示している。

第一部は中央学界での発表論文六編。第二部は地方史壇および学会誌への論文九編。第三部の研究余滴は新聞紙上などに掲載された寄稿二〇編。第四部では、五箇山研究につ

いての提案と受とれる論証と、広範囲に及ぶ研究者の研究を紹介し、あるいは経過を述べ、これら関係文献目録を終章の第五部にあげてある。書名「ノート」が示すように著者にとつては旧稿の整理であろうが、この一冊は五箇山研究のよき手引書となっている。

秘境越中五箇山 石崎直義著（北国出版社刊昭47）

学術研究書でもなく、観光ガイドブックでもない本。この一冊で五箇山の歴史性や民俗性などの特質が概観できて、さらに一步探索への興味を誘い、郷土を愛する心情を覚えさせる本。著者のこの念願によつて各編が構成されている。目次は、五箇山の四季、山人のささえ、産物のいろいろ、むかしのくらし、秘境の交通、民謡の宝庫、民話と伝説、秘境の年輪、新しい山村作り、と新書版ながら多彩にわかつている。写真が添えられ解説文調に書かれているから、ポケットに一冊しのばせて五箇山を探勝したくなる本といえよう。

ふるさと五箇山（北日本新聞社刊昭47）

目次。五箇山の美しさ……石崎直義。五箇山の歴史と生活……高田善太郎。五箇山の伝説……米沢保。五箇山の民俗……小坂谷福治。五箇山の味……宮崎重美。五箇山周辺図 もくじ。五箇山への道、春夏秋冬、春の祭り、ことば、民

謡、季節の味、嫁取り、葬式、信仰、合掌の屋根、民具、

五箇紙、昔話

平村出身、富山市在住の両君が、若い情熱を燃して五箇山の四季や民俗、失われる山びとの暮らしを撮り綴つた好著である。みごたえのある写真集となつてどの画面も語りかけてくれている。また土地なまりを交ぜた文章もよい。

近年における五箇山研究　米沢康（越飛文化第3・4号昭31）

一九五九年における五箇山研究　米沢康（越飛文化第8号昭36）

越中史料　全五冊　富山県編（刊明42）

加賀藩史料　全十八冊　前田育徳会編（昭4～23）

砺波町村資料　砺波町村資料刊行会編（昭7）

明治初年の砺波　藤田義農著（自刊昭11）

中越史料総覧稿　木倉豊信著（自刊昭11）

富山県郷土史年表　第1編～第8編　飛見丈繁著（自刊昭17～18）

莊白川学术調査報告書上・下　岐阜県教委編（刊昭32）

五箇山総合調査報告書　富山県教委編（刊昭33）

富山県郷土資料総合目録　富山県立図書館編（刊昭35）

五箇山白川郷大家族制度関係文献目録

米沢康（越飛文化第9号昭37）

富山県郷土人物索引　富山県立図書館編（刊昭43）

郷土研究雑誌論文目録　富山県立図書館編（刊昭46）

加越能マイクロフィルム資料解説目録

富山県立図書館編（刊昭48）

加越能文庫解説目録上・下巻　金沢市立図書館編（刊昭50・56）

石川県郷土資料総合目録　石川県立図書館編（刊昭51）

富山県立図書館蔵古絵図解説目録　富山県立図書館編（刊昭55）

羽馬家文書史料目録　砺波図書館協会（中越郷土叢書第26集昭55）

五箇山山村研究センター資料目録

上平村誌　上平村役場編（刊昭57）

上平村誌　上平村役場編（刊昭57）

2 古誌・古文書・絵図

二十四輩順拝団会　巻之三　僧了貞著（京都書林享保3刻）

目録に人形山、五箇山、筑子踊、天柱石あり

五箇往来（米沢康氏藏文政2以前の作）

奇談北国巡杖記　巻之二　鳥翠台北茎者（文化4年刻）

目録に人形山の雨、神楽踊筑子唄譜あり

五箇山村なぞ記　作者見花堂（菊屋七郎兵衛板文化10）

三州志一来因概覽・同付録　富田景周編（益智館刊明16）

越之下草　宮永正運編（富山県郷土史会刊昭26・55）

目次に五箇山、松尾立石など多數あり

越中地志

青木北海著（文化文政期作、五ヶ山有　富山県郷土叢書昭7）

越登賀三州志　富田景周著（石川県立図書館協会再刊昭8）

故墟考に下梨古城ほか、図譜村籍に五ヶ山村名などあり

越中志徵 上・下巻 森田平次著（富山新聞社刊昭27）

目次に、五ヶ山、神楽踊筑子唄など多数あり

加越能三州地理志稿 富田景周著（文政13石川県立図書館協会刊）

越中地誌略—砺波郡（益智館刊明14）

越中国五箇荘の事 譚海 卷の一（図書刊行会刊大6）

越中国一村平氏子孫住居の事 譚海 卷の四（図書刊行会刊大6）

譚海による理想境—胡箇の庄

京田良志（北日本新聞昭51、5、15）

越中古文抄 飛見丈繁著（自刊昭31）

五箇山十日講文書覚書 米沢康（五箇山研究ノート昭37）

祖山村太郎助先祖三十七ヶ村百姓持高帳

野村藤作（中越郷土叢書4・5集昭30）

砺波郡五ヶ山等覚帳—石黒家文書

中島正文（中越郷土叢書13集昭35）

五ヶ山当座覚帳—埴生村太田家文書

加賀藩産物方資料 (一)(二)(三)

野村藤作（中越郷土叢書11・12・13集昭35）

五ヶ山の文献 広瀬誠（中越郷土叢書9集昭33）

五ヶ山文献探訪 其の一 福光図書館（中越郷土叢書9集昭33）

五ヶ山関係文献藏目—杏文庫蔵書

中島正文（中越郷土叢書9集昭33）

井波図書館所蔵五ヶ山文献 野村藤作（中越郷土叢書9集昭33）

井波城端判方文書 野村藤作（中越郷土叢書10集昭34）

砺波地方絵図 広瀬誠（越飛文化7号昭34）

五箇山絵図 広瀬誠（越飛文化7号昭34）

3 地質・気候・生物・自然

五箇山旅行記—地質鉱物研究

大地義治（富山県教育会雑誌第85号大9）

脇谷・利賀の大七葉樹

御旅屋太作（富山県史跡名勝天然記念物調査報告書7大15）

五箇山植物採集記 杉坂寛一（鍊金9昭4）

医王山五ヶ山採葉記 大谷文昭ほか（鍊金9昭4）

白川五箇山方面の見学採集行

石浦邦夫（富山高等学校生物部誌昭23）

富山県高清水山地の地質—特に城端上梨断層について

池辺展正（自然と社会5・6合併号昭25）

富山県東砺波郡利賀村石灰岩調査報告書

千村勘ほか（富山県地下資源調査報告書昭26）

利賀方面の昆虫について 田中忠次（富山生物学会報昭26）

富山県東砺波郡上平村鉱床概查報告文

上治寅次郎ほか（富山県地下資源調査報告書昭27）

- 富山県平村祖山産ユーラセナイト—ボリクレイス系鉱物について 田久保実太郎ほか（鉱物雑誌1—5号昭29）
- 文化時代の大牧温泉 石崎寛（越中史壇第7号昭31）
- 五箇山災害史観書 米沢康（五箇山研究ノート昭31）
- 利賀方面採集会に於ける昆虫目録
- 田中忠次（越飛文化3・4合併号昭31）
- 五箇山下梨方面生物の一端 田中忠次（越飛文化5号昭32）
- 庄川の陸水学的調査の結果
- 小泉清明ほか（莊白川総合学術調査報告書下昭32）
- 西赤尾地方の利用植物 石田外茂一（越飛文化6号昭33）
- 大雪の歴史 田口克敏（越中史壇第21号昭36）
- 五箇山水無方面生物の一端 富山高校生物部採集旅行報告
- 坂下栄作（越飛文化8号昭36）
- 人形山の植物相附観光所見 進野久五郎（越飛文化10号昭38）
- 五箇山の昆虫追補 田中忠次（越飛文化10号昭38）
- 井波庄川附近の地質 菊川茂（富山県理化学会誌第8卷1号昭41）
- 利賀の自然 利賀村教育センタ（昭41—49）
- 利賀村の自然研究—特に金剛堂山とその周辺の高山における植物相 須河隆夫（越飛文化15号昭44）
- 人形山 高桑敬親（譜写自刊昭44）
- 越中五箇山桂の植物名方言 倉田悟（植物と民俗地球出版昭44）
- 人形山案内—植物 河合秀雄（人形山案内テキスト昭49）

4 人類・考古

- 人形山および池ノ平の植物 平区域教育センター（テキスト）
- 庄川の水害（庄川町史下巻昭50）
- 五箇山地方の豪雪 新藤正夫（豪雪富山地学会刊昭57）
- 越中利賀村発見の石器 米沢安立（東京人類学会雑誌第233号明43）
- 十字形石器の類品について 米沢安立（人類学雑誌27—3明45）
- 刃の欠損せる石斧を槌に用いたる一例
- 米沢安立（人類学雑誌28—3大2）
- 越中国東砺波郡平村田向発見の石器
- 柴田常恵（人類学雑誌33—8大7）
- 富山県五箇山郷民の形質人類学的研究
- 村田敬ほか（金沢大学医学部解剖学教室業績第44冊昭28）
- 大家族の体质測定
- 加藤義治郎（金沢医大衛生学教室彙報 民族生物学研究4）
- 五箇山の石器と故米沢安立師 川本清（越飛文化創刊号昭29）
- 小谷遺跡遺物包含地の調査 (一)(二)(三)輯
- 高田善太郎（東中江小学校刊昭29・30）
- 平村小谷における遺物包含地の発見に就いて
- 高田善太郎（越飛文化2号昭30）
- 東中江遺跡調査報告書 平村教委、東中江小学校（昭30）
- 五箇山と考古学 米沢康（五箇山研究ノート昭30）

祖山（平村）発掘の象の歯化石

直良信夫（越飛文化3・4合併号昭31）

平（村）の遺跡に就いて—石棒と河原石の数々

嶋尾正一（越飛文化3・4合併号昭31）

五ヶ山の石器とその時代 米沢康（月刊北日本昭32）

五箇山の石器 米沢康（五箇山研究ノート昭33）

五箇山の縄文式遺跡と遺物 米沢康（地方史研究39号昭34）

高沼縄文式土器時代遺物包含地発見概況報告書

保科斉彦（自刊昭36）

富山県の石器と土器 早川莊作著（清明堂刊昭37）

平村下梨こもむら遺跡調査報告書

高田善太郎（平村教育委員会昭40）

庄川沿岸の「串田新」式の考察 沼田啓太郎（越飛文化13号昭40）

全国遺跡地図—富山県（文化財保護委員会刊昭40）

五箇山の串田新・氣屋式 小島俊彰（越飛文化15号昭44）

富山県遺跡台帳目録（富山県教育委員会刊昭47）

富山県遺跡地図—埋蔵文化財包蔵地所在地図（県教委刊昭47）

東中江遺跡 富山県埋蔵文化財センターブ（平村教委刊昭57）

流誦地五箇山 井上江花（雪窓開譜所収大15）

5 歴史・加賀藩・流刑

地理と歴史と—五箇山研究の一課題

大槻騒動（石川県史第2編第4章第1節昭3）

加賀藩農政史考 小田吉之丈著（刀江書院昭4）

佐七大槻の配所を訪ぶ 森田小兵衛盛昌（咄隨筆上巻昭8）

五箇山の吉野朝史考上・下 高桑敬親（高志人昭13）

五ヶ山誌私考 沼崎外太郎（自刊昭15）

五ヶ山史—飛驒から見た五ヶ山史 沼崎外太郎（自刊昭16）

越中吉野朝勤皇史（越中宮宗良親王奉讚会刊昭17）

五箇山誌稿第二輯 沼崎外太郎（自刊昭17）

五箇山史考—室町期 高桑敬親著（自刊昭17）

宗良親王五箇山御滞留を御詠の上に拝察して

高桑敬親（高志人昭18）

越中宮宗良親王の御動向、興国年中に二回御入国冬季五箇山御

潜留及正平二年春越中御退国を御詠に拝察す

高桑敬親（自刊昭20）

興國正平の昔越中に於ける宗良親王の御動向を拝察する

高桑敬親（自刊昭30）

五箇山口留番所考 中島正文（越飛文化2号昭30）

平家谷 米沢康（五箇山研究ノート昭30）

石山合戦と五箇山 米沢康（五箇山研究ノート昭30）

十村役の村廻り 木倉豊信（越飛文化3・4合併号昭31）

越中の十村 飛見丈繁著（自刊昭31）

米沢康（五箇山研究ノート昭31）

五箇山の名勝旧跡めぐり—通俗五箇山歴史

高桑敬親著（贋写自刊昭31）

加賀藩と五箇山 米沢康（五箇山研究ノート昭32）

祖山における大槻伝蔵の最後

高道正信（五箇山哀話の内第4話昭32）

加賀藩の五箇山支配 米沢康（五箇山研究ノート昭32）

五箇山の歴史地理的性格 米沢康（五箇山研究ノート昭33）

加賀藩の十村制度 米沢元健著（自刊昭33）

加賀騒動実記 三田村鳶魚著（青蛙房刊昭33）

河上糸の歴史・地理 米沢康（五箇山研究ノート昭34）

藩制下農民の衣食住について（上）（下）

西川栄一（中越郷土叢書10・11集昭34・35）

河上糸貢納書のもつ意味 高桑敬親（越中史壇第16号昭34）

謫流地五箇山 津田進（越飛文化7号昭34）

越中の山奥に加賀藩の流刑地 宮内寒弥（歴史読本5—8昭35）

享保六年百瀬川村大豆谷村山論裁許之事

石崎俊彦（越飛文化8号昭36）

五箇山と能登島 八田健一（加能民俗5—7昭36）

越後上杉氏と越中五箇山 米沢康（五箇山研究ノート昭37）

砺波臣志留志とその一族 米沢康（南都仏教第12号昭37）

五ヶ山史考察—尾山御坊と親鸞木像 高桑敬親（自刊昭38）

加賀藩嘉永期の藩政・改革 水島茂（地方史研究66号昭38）

五ヶ山史考察—尾山御坊と五ヶ山 高桑敬親（自刊昭39）

越中古代史の研究 米沢康著（越飛文化研究会刊昭40）

砺波郡における同名異村 佐伯安一（中越郷土叢書17集昭41）

近世飛驒白川郷照蓮寺領の考察 細川道夫（越飛文化15号昭44）

史実から見た五箇山 米沢康（北陸中日新聞昭44、8、29）

安政五年の長崎村茂右衛門騒動（井波町史昭45）

加賀藩農政史の研究上・下巻 若林喜三郎著（吉川弘文館昭45）

越中五ヶ山における人身売買文書考察 石崎直義（古文書研究第5号昭46）

加賀藩の田地割制度について 原昭午（徳川林政史研究所研究紀要昭46）

加賀藩初期の飛州北方材調達について 加賀藩改作法前史 その一、二、三 岩瀬保（徳川林政史研究所研究紀要昭47）

五箇山史—南北朝期 高桑敬親（自刊昭47）

五箇山の流刑 高田善太郎（びぞん通信47昭52）

坂井誠一（富山大學教育学部紀要21・22・23号昭48・49・50）

加賀藩初期の飛州北方材調達について—主として越中庄川の場 合 高瀬保（近世越中の社会経済構造第9編第1章昭50）

近世越中の社会経済構造の研究 坂井誠一編（名著出版刊昭50）

大槻伝蔵の感傷 南條範夫（小説現代別冊初夏号昭50）

五箇山の流刑 高田善太郎（びぞん通信47昭52）

加賀藩改作法の研究 坂井誠一著（清文堂出版刊昭53）

6 産業・経済・塩硝・和紙

越中五ヶ山の史料—経済史料(一)

小寺廉吉(高岡高商研究論集第6卷第3集昭8)

五箇山史談—吉野朝期 高桑敬親著(自刊昭53)

五箇山史談—吉野朝期 高桑敬親著(修補再版昭54)

五箇山とい地名 倉光清六(民族と歴史7-2)

越中宮宗良親王の御動向 高桑敬親(自刊)

北陸越中宮宗良親王ノ御動向 拝察ス 高桑敬親(自刊)

五箇山史夜話 高桑敬親(自刊)

五箇山史考 高桑敬親著(自刊)

平村史 南朝史考 高桑敬親(自刊)

大伴家持と砺波臣志留志 米沢康(日本上古史研究第7卷6号)

村の歴史を探ねて—利賀村(利賀村史編纂委員会刊昭53)

加賀騒動 若林喜三郎著(中公新書中央公論社刊昭54)

お家騒動—中期モデルケースの加賀騒動

稻垣史生(文春文庫文芸春秋社刊昭54)

天保義民物語 大場芳朗著(北国出版社刊昭55)

加賀騒動—原本現代訳 青山克弥訳(教育新書教育社刊昭56)

五箇山吉野朝私考 高桑敬親(自刊)

五箇山史考・補 高桑敬親著(自刊)

水見と五ヶ山 高桑敬親(自刊昭56)

五箇山史考・補 高桑敬親著(自刊)

五箇山史考

五箇山史考

五箇山史考

五ヶ山各聚落の草高、納税額、物成および百姓数がある
越中五ヶ山の史料—経済史料(二)

小寺廉吉(高岡高商研究論集第7卷第2号昭9)

五ヶ山における土地割合制度、村々の基盤割資料がある

越中五ヶ山の史料—経済史料(三)

小寺廉吉(高岡高商研究論集第10卷第2号昭12)

租税の納付、変地償米、明治初年の地租改正資料がある

五ヶ山の塩硝 坂井誠一(富山文芸1昭27)

越中山村経済構造研究 上巻中巻下巻

杉本寿(名古屋農林局報みどり別刷昭28-32)

著者杉本教授は、日本の山村研究の視点から越中山村の専門的な調査研究を実施、そのたびに「みどり」誌に報告発表があつた。その別刷合本が上中下三巻ある

五ヶ山に関する第八章以下の目次を次に掲げる。

第八章五ヶ山の研究

第一節叙説 第二節石器 地質 気象

第三節行政構造(五ヶ山の政治形態 十村の役割 飛驒領

の政治構造 飛驒の口役銀 越飛の交通 飛驒側への米

塩移出 運輸貨銀籠渡しの役割 橋梁構造物に対する出

労働)

第四節租税制度の研究(納税額 草高・物成・農家数 農

家に対する租税割当 租税の皆済 租税における連帶制

度・変地・変地價米 地租改正条例実施の意義)

第五節 土地割換制度研究 (序言 基盤割制度 平村高草
嶺夏燒 中江の基盤割 平村小来栖の基盤割 利賀村百瀬

川ほか五聚落の基盤割 利賀村奥大勘場の基盤割 利賀

村南大豆谷の基盤割 明治八年前後の基盤割 結論

第六節 塩硝制度の研究 (灰汁煮屋 中煮屋 上煮屋 御上

納 硝石製造に関する聽取書)

第七節 判方の研究

第八節 流刑の研究

第九節 農業制度研究 (序言 加賀農業基本法 農業行政の

發展過程 農業皆層 飛驒農業のストラクチャ 農業

マニユフ アクチュア 作毛保護と鉄砲 五ヶ山の食制年

中行事)

第十節 林制の研究 (緒言 五ヶ山の制紙業 五ヶ山紙と楮

三種の役割 特殊林産物 漆器五業 柏樹権制度 飛驒

の林政 御救元伐 山方米 鷹巣山の役割 輪轆舗制度)

富山県の手漉和紙生産 中田貞弘 (自然と社会12昭29)

五箇山の鮎簍 中島正文 (中越郷土叢書4集昭30)

和紙製造と五箇山の生活史 渡辺久雄 (地域調査昭30)

五ヶ山の和紙 高桑敬親 (越中史壇第5号昭30)

五ヶ山紙取引に関する一資料 野村藤作 (中越郷土叢書6集昭31)

越中五箇山の焰硝 山本健麿 (化学と工業昭31)

塩硝 米沢康 (五箇山研究ノート昭31)

五ヶ山と城端判方商 高瀬保 (富山教育41・42号昭31)

山村における日本資本主義の後進性 副題—判方の研究

杉本寿著 (長野林友刊昭31)

庄川上流漁業沿革史 中島末吉 (庄川漁業協同組合連合会刊昭31)

下利賀の判方 杉本寿 (越飛文化5号昭32)

越中五ヶ山の蚕糸 高桑敬親著 (自刊昭32)

近世間屋制における山林収奪過程の分析

杉本寿著 (日本林学会誌昭32)

利賀村に於ける林業発達 上島正徳 (越飛文化6号昭33)

城端の絹織物 高瀬保 (越中史壇第13号昭33)

五ヶ山蓑 高桑敬親 (越中史壇第13号昭33)

封建経済構造の崩壊過程—越中五箇山の研究

杉本寿著 (日本評論新社刊昭33)

目次 (抄)

第一章 山村における日本資本主義の後進性

第一節 緒論 (工業生産の出発点 商品生産 資本家的家

内制 藩マニユフアクチュア)

第二節 判方制度研究 (緒言 五ヶ山糸 五ヶ山紙の生産

麻糸の生産 運輸方法 搬入物価と搬出物価 五ヶ山物

産往来の監税 判方の総清算 五ヶ山貧困の原因 判

〔飯〕方にたいする五ヶ山の反目 判方株への疑問 井

波町の判方)

第三節 結論（山村經濟基本体の分析 農山村と農村負債
判方大福帳の統計値 判方大福帳の經濟的分析 判方抵
当担保物権としての山林・耕地）

山產物の商行為取引から解明し、近世封建社会の經濟構造の一面を実証している。そのため判方商家の大福帳や山方百姓家の万覚帳などの資料から、近代初期における家計收支構造の分析にまで及んだ。

第二章 家計收支構造の分析（緒論 万覚帳の統計値分析
万覚帳データの整理方法 集計数値の解析 数量単位・單
価の変遷 手間賃と作料の意義 年代別による判方借金構
造分類 農家の自給物資と購入物資 購入物資問屋価格と
生産費との均衡 万覚帳の集計表から見た諸考察 長期農
家家計簿「万覚帳」上にあらわされた分析結果）

第三章 問屋による土地收奪構造の分析（土地台帳資料にか
んする整理要綱 収奪件数の分析 総段別にたいする收奪
土地の比率 個人有土地にたいする收奪土地比率 電源開
発事業にともなう收奪土地の比率 村別および部落別によ
る收奪構造 土地收奪構造の統計値的分析 山林收奪過程
の分析 判方の農地・山林收奪形態 土地收奪による政治
經濟的影響 土地收奪年次集計からみた時代的考察 共有
地の收奪 結論）

第四章 電源開発にともなう商業資本の土地收奪（緒論 各
村の件別集計 部落別の件別構造）

本書は、加賀藩が五ヶ山に對して、改作法例外、異例の町
方商家からの前借を許したことから生じた判方制度を、五ヶ

さらに電源開発もまた資本主義の土地收奪とみたてて、山村社会の変容とその性格が経済学の視点から論じられている。
以下、序文の一部分を転載して、著者の意図を紹介したい。
「昭和二十七年の盛夏、著者は三十年らいのわが國農山村經濟研究の最後のフィールドである越中農山村領域にたいする基礎的調査のため、先輩たる名古屋営林局弘報室長岩間太郎氏の案内をいただき、かつは富山県庁林務課員ならびに富山営林署員の案内をうけながらはじめて越中農山村のなかに分けいった。顧みれば、この間をとおしつねにふかい助力を添のうした、今の青森営林局治山課長須藤作蔵ならびに当時の桜井登正署長両氏の温情が、その後六年にわたる研究の淵源となつた。

また經濟地理学の權威たる畏友富山大学經濟学部長小寺廉吉氏は、つねに多くのサジエシヨンを与えられ洲崎哲二博士

に紹介してわが国学界未開の宏大なる問屋制資料を披見する機会を与えられた。西川栄一、木村外一家その他多くの判方商家の好意ある数百冊に及ぶ判方制大福帳の整理着手は、かくのごとき経緯をもってはじめられ著者をして農業経済構造の核体数値の把握に確たる自信をもたせる原因たらしめた。おそらく判方制根本データに遭遇することがなかつたならば、このシステムを通ずるその後にきたるスプレッドと展開は生起しなかつたであろう。じつに判方制基本資料は、従来まで全く未発見であった地方半都市問屋商家と近郊商城圈における農山村との、経済交易を中心とする金融機構の全容を理解し得て十分であったことは、われら研究者一同にとって何ものにも優る信念を与えてくれた。つつしんで極秘貴重の家宝文書の数々を、快よく学問研究のため披見を有された西川、木村御両家の好意を深謝したい。

坂本家の好意による同家万覚帳文書は、前掲大福帳文書におどらない重要性を有するものであって、凡百年間におよぶ農家々計の細大洩らさない記録は、現在もなお同家々長のデュティとして伝統しつづけられ、問屋制経済交易の具体的実態を分明せしめ、かつは問屋制との経済的関連性をもつたえて遺憾ないものがある。すなわち著者は、叙上ごとき四つの重大資料（注土地台帳を加えて）をもつて農業経済構造の数值的基盤をば抽出せんことを意図しはじめたのである。しか

しこれらの方法論はいたって簡単容易であるが、十万余町にわたる農業数値の計数整理は容易なことではなく、後に掲げることとき實に多数の方々の示教援助に俟たざるをえなかつた。はじめに著者は一、二年の年月をもつてすれば、十分な結論に到達しうるものと予測していたが、二、三年を経過しても容易に計出数値まとまらず漸くにしてあせりを見せるに至つた。しかしてこの長期にわたる研究続行にもかかわらず、現地当局の方々は終始かわりなく多大なる便宜を供与せられたのは、深く感謝にたえないところである。認識の道は限りなく今ここにかりそめの宿りをして、明日の旅を準備することをあなたがち咎める人ばかりでもあるまい。すなわちここに一本をまとめて、恩恵ふかき恩師の御前とわが国農業経済学界にささげたいと思う。」

砺波郡の産物 石崎直義（越中史壇第13号昭33）

五ヶ山の蚕業 高桑敬親（越中史壇第14号昭33）

改作法と町人資本の進出——城端の貸方業者と五ヶ山農民

坂井誠一（越中史壇第15号昭33第16号昭34）

五箇山の農業 米沢保（農業北日本9—1昭33）

庄川筋における飛越間の商品流通——江戸末期

矢ヶ崎孝雄（越飛文化9号昭37）

御養育書 石崎俊彦（越飛文化9号昭37）
越中産紙考 高田長紀（百万塔21—23号昭40—41）

越中五ヶ山産紙考 (一)(二)(三) 高田長紀

(富山史壇第31・32・33号昭40・41)

明治以降の城端判方と五ヶ山 高瀬保 (越飛文化12号昭40)

五箇山の塩硝 山本健麿 (富山教育51号昭42)

越中五ヶ紙漉遺聞 高田長紀 (百万塔第24号昭42)

富山県手すき和紙の概況 山口昭次 (百万塔第24号昭42)

五箇山の塩硝 山本健麿 (富山大学教育学部紀要15号昭42)

越中五箇山における塩硝づくり

山本健麿 (富山女子短大紀要2輯昭43)

和紙製造と五箇山の生活史

渡辺久雄 (日本の村落と都市所収昭44)

現代に生きる在来工業の地理的研究—手漉き和紙の場合

中田貞弘・須山盛彰 (新しい富山県の地理第2集昭44)

五ヶ山地方の製紙に関する所見

高田長紀 (富山史壇第44・45合併号昭44)

越中五箇山に塩硝を訪ねて 南坊平造 (銚砦史研究昭44)

北陸産紙考 上・下巻 高田長紀著 (財團法人紙の博物館昭45・53)

本書(上巻)は、目次のように五ヶ山紙の記述が多く、豊

富な史料を使って論考されている。

目次

医王山麓の紙漉き村群落

藩政時代の五ヶ山製紙

五ヶ山製紙の起原と発達 五ヶ山貸商人と加賀藩改作
法 御用紙 五ヶ山仕入紙取集所 五ヶ山製紙と前楮

五ヶ山産紙の変遷 産紙の主な種類

加賀の鳥の子紙

越中産紙聞き書

まえがき 五ヶ山の中折 七山の笠紙 蝙谷紙 八尾

の紙と紙宿

付録 1 雁皮紙 2 金箔打紙 3 蝙谷紙 4 五箇八寸 5

楮紙

加賀藩の五箇山支配の成立と焰硝生産

石崎直義 (北陸史学18号昭45)

藩政時代の楮栽培について 高田長紀 (富山史壇第47号昭45)

越中の秘境・五箇山製硝場

奥村正二 (火縄銃から黒船まで—江戸時代技術史岩波書店刊昭45)

加賀藩五ヶ山羽馬家塩硝史料について

伊丹政太郎 (立命館文学第304号昭45)

現代に生きる越中和紙 須山盛彰 (北日本新聞昭46・8・11)

五ヶ山御仕入紙取集について 高田長紀 (越飛文化16号昭47)

加賀の火薬コンビナート、幕末期の五ヶ山塩硝

伊丹政太郎 (越飛文化16号昭47)

加賀藩の諸仕法と越中楮 高田長紀 (高岡第一學園学叢昭48)

飛驒焰硝 菴村正文 (飛驒春秋18巻10号昭48)

明治以降の城端の絹織物業 (1)(2)(3)

高瀬保 (富山史壇55・58・59・60合併号昭48(50))

上平村の産業と特産物の盛衰

小野塙功一 (山村社会経済誌叢書10巻国土社昭49)

越中五箇山塩硝と特産物生産 小野塙功一 (同右)

僻遠山村と特産物の生産 — 富山県上平村 小野塙功一 (同右)

五箇山平村の棚田の造成とその水利

竹内常行 (富山県地学地理学論集6集昭49)

城端の貸方業者と五ヶ山農民

坂井誠一 (近世越中の社会経済構造第2編第3章昭50・加賀藩改作法の研究第3編第3章昭53)

五ヶ山の産業構造 (城端町史昭34)

五ヶ山への貸方業 (井波町史上卷昭45)

判方商 (城端町史昭34)

五ヶ山貸商人 (城端町史昭34)

五ヶ山と城端判方覚書 高瀬保 (富山県地理学研究論集第2集)

加賀藩の五箇山支配の成立と焰硝生産 石崎直義 (北陸史学18号)

火薬の製造 (井波町史上卷昭45)

紙販売業 (井波町史上卷昭45)

加賀藩の楮仕法について 高田長紀 (北陸史学第18号)

五ヶ山地方の製紙 (富山県政史第五編産業史第八章)

由来 五ヶ山和紙の研究 高桑敬親 (自刊)

五箇山の和紙 高桑敬親 (自刊)

塩硝 高桑敬親 (越中五箇山村の民俗第4章富山県教委員会刊昭46)

焰硝のふるさと、その製法 江口春太郎 (花火ものがたり中日新聞社刊昭57)

7 交通・交易・流木

庄川木流し報告書 三浦薰雄 (ひだびと4—12昭11)

五箇山の道路開拓 土田古香 (高志人8—12昭18)

五箇山口留番所考 中島正文 (中越郷土叢書1集昭29)

五箇山の籠の渡に就いて 中島正文 (中越郷土叢書3集昭30)

交通史の再検討を 米沢康 (五箇山研究ノート昭31)

五箇山のボッカ 米沢康 (五箇山研究ノート昭32)

口留番所覚書 米沢康 (溪流10昭34)

五箇山の森林開発と庄川流材

高桑敬親 (越中史壇第17・18号昭34)

五ヶ山材木の集荷 (城端町史昭34)

五ヶ山道路開さく秘話 (城端町史昭34)

近世に於ける五箇山の交通 (二)

石崎直義 (越後文化10・11号昭38・39)

籠の渡りとロープウェー

広瀬誠 (越中史夜話・みんなの県政昭44・48)

籠の渡の歴史と文献 広瀬誠 (富山史壇第44・45合併号昭44)

籠の渡の歴史と文献・統 広瀬誠（富山史壇第46号昭45）

五ヶ山・飛驒への塩販売（井波町史上卷昭45）

越中の登り塩一件 大野政雄（飛驒春秋16—9昭46）

近世に於ける飛驒御用木の元伐と輸送

高瀬保（地方史研究120号昭47）

村の橋梁 平村教育委員会編（昭47）

積雪が隔絶山村の交通におよぼす影響—東砺波郡平村の実態調査

新藤正夫（富山県企画室刊昭48）

飛越国境の口留番所と加賀越中領の関所

葛谷鯨彦（飛驒春秋18—6昭48）

籠の渡りと牛 広瀬誠（富山史壇第55号昭48）

籠の渡り 橋南谿（東遊記平凡社刊昭49）

近世越中関所の設置と規模

水島茂（近世越中の社会経済構造第8編第1章昭50）

五ヶ山からの流木（庄川町史上卷昭50）

五ヶ山木呂の川下げる（庄川町史上卷昭50）

飛驒との塩交易（庄川町史下卷昭50）

五ヶ山への道（庄川町史下卷昭50）

飛驒登塩 高瀬保（同氏著加賀藩海運史の研究雄山閣刊昭52）

五箇山飛驒よりの運材 高瀬保（同右）

国道と五箇山—五箇山地区インバクト調査

（建設省北陸地方建設局富山工事事務所刊昭55）

五箇山の冬はもう眠らない 北陸建設弘済会編刊（昭55）

富山県歴史の道調査報告書—飛驒街道その2—五箇山道 富山

県教育委員会編刊（昭56）

秘境五箇山に新しい道を—一般国道一五六号工事誌 建設省北

陸地方建設局監修（北陸建設弘済会昭56）

8 庄川問題・電源開発

庄川堰堤反対の理由と経過 北陸タイムス社編（刊大15）

庄川筋に於ける流木問題について 庄川水力電気株式会社編

（刊昭6）

庄川問題の起源と経過 飛州木材KK編（刊昭6）

庄川事件 岸清一訴訟記録集 民事8

岸清一著（嚴松堂刊昭14）

庄川問題 上・下巻 石山賢吉著（ダイヤモンド社刊昭16）

富山県の河川と水力電気 三池鎮浪（実業の富山2—12号3—2号昭22・23）

富山史話—庄川流木事件（実業の富山2—12号3—2号昭22・23）

水資源の開発に伴う補償問題—特に庄川流域に於ける電源開発

に伴う補償問題 小寺廉吉・植村元覚（富山大学紀要経済学

部論集創刊号第2号第6号昭28・30）

目次

緒言（水利用計画に於ける補償問題我々の調査計画）

第一章 庄川流域の概要（地域の概観 庄川流域への交通路

庄川流域の各地域的区分の解説—城端町から下梨まで—青島から下梨まで—下梨から西赤尾まで—西赤尾から椿原まで—椿原から水源まで—利賀川及び百瀬川筋)
第二章 庄川村の概要と御母衣の発電事業による水没問題

(莊川村の概要 御母衣の発電事業による水没問題)

第三章 白川村の概要と椿原の発電事業に伴う補償問題 (白川村の概要 白川村の過去の生活と産業 椿原の発電事業に伴う補償問題 椿原部落 発電事業に伴う補償問題(一)(二)椿原の補償問題に対する批判)

第四章 上平村に於ける発電事業に伴う補償問題 (成出の発電事業に伴う補償問題 小白川部落 成出 小原発電事業に伴う補償問題 発電事業に伴う補償問題の経過)

第五章 平村に於ける発電事業に伴う補償問題 (小牧及び祖山に於ける発電用ダム建設の経過—庄川問題 平村全体から見た補償問題 祖山ダム建設当時 祖山ダム完成以後) 第二章の追録 御母衣の発電事業による水没問題つづき (緒言 御母衣の発電計画の決定の経過 反対運動及び協力派の運動 計画変更の陳情と反対運動の継続 協力派の分裂とその運動の経過)

水利用計画は重要な国土開発計画でありながら実施に当っては補償問題を伴って地域社会に諸影響を及ぼし、住民が被害をこうむる場合がおきた。これが解決は個々におこなわれ

るものでなく、集団補償の時代に入ることから、著者らは適正基準設定のための調査委嘱を受けた。とりわけ、小寺教授の研究は五箇山・白川郷へかけて深められていたから、複雑多岐な補償問題の実態は効率よく把握できて、多くの事例があげられている。

本書は、庄川電源開発当初からの問題性をとりあげ、調査報告に止まらない補償問題論を、著者の研究主題の立場から述べられてある。地域住民にとっては、これに遭遇した真実の歴史記録として重要な意味を持つ。

電源開発と農業問題 吉岡金市著 (刊昭31)

水没村の問題—庄川筋の事例

小寺廉吉 (現代地理講座第5巻河出書房刊昭31)

水没村の運命—庄川上流の御母衣ダムの場合、

小寺廉吉 (自然と社会第17号昭31)

庄川流木争議について 栗山直隆 (越中史壇第14・15号昭33)

庄川峡の変貌—越中五ヶ山の今と昔
小寺廉吉著 (ミネルヴァ書房刊昭38)

著者の五ヶ山研究は昭和初期の電源開発当初、いわゆる五ヶ山近代史の夜明け期にはじまる。以後足まめに現地をたずねて取材がなされた。今にしてみれば、著者の書庫に眠るメモ帳や反古までが歴史の証言者となり得るであろう。

本書の出現については、自序の抜粋を掲載して、解説に代

えることとする。

「一九二五年から富山県に住むようになったとき、大都市を離れたので淋しい気がしたが、『こんどは農村や漁村や山村をじゅうぶんに見てやろう』と決意した。そして当時の高岡高商の同僚の小山隆氏や正木隆次郎氏や富山地学会の人々などと農山村の研究をはじめ、とりわけ庄川筋の山村の詳細な調査は永い年月つづいた。地理学や山村の経済や経済史ばかりではなく、社会学や民俗学の方面からも、山村の問題を勉強するようになり、特に柳田国男先生の郷土生活研究所の山村調査の同人にいただいて、ひじょうに学ぶところが多かった。この山村調査以外にも、他の多くの山村を訪れる機会をつくって山村の勉強をした。そしてこれらで得たところはいつもすべて庄川の山村のものと比較してみた。

書き残しておくことは、たいへんな喜びである。
これはこの山村におけるすでに亡くなつたまた現存の多くの協力者のご好意に報ゆるゆえんであると思うし、また一つの地域、そこにおける一群の社会の変遷の歴史を明らかにしておくことは、ネウチのある仕事と思うからである。ただ執筆の時間と紙数の制限のために、本書でとりあげる主題を二つの概論的なもの（一は最近における庄川の山村の変革の概要について、二は加賀藩政時代の生活の概要と生活の基礎的な条件について）に限定しなければならなかつた。そして二つの紀行文をつけ加えた。

他の事柄の執筆は次の機会にゆずりたい。

『人間および社会の進化』の研究、つまり人間や社会の進化、発展とは何か？ 人間の幸福とは何か？ それを実現する路筋をたずねることが、わたしの生涯の課題なのであるが、この課題を、庄川の山村の生活や人間の心の変革の中にたずねた試論が、本書の著作となつたのである。成功したとは思はないが、著者の心をくんで頂ければかたじけない。』

庄川流木争議再論 栗山直隆（越飛文化15号昭44）

庄川流木事件（庄川町史上卷昭50）

水力発電所建設の歴史－祖山発電所編・流木関係編 関西電力KK北陸支社（社報「ほくりく」223～227号昭52）

庄川の谷の中で永い期間の観察や思索や研究したところを

9 社会・人文地理・地域開発・観光

小山隆（高岡高商研究論集開校十周年記念号昭10）

越中五ヶ山の話 小寺廉吉（高志人2—6・7昭12）

満州農業開拓民 富山県經濟部編（昭14）

満州の砺波郷—その創設前史

小寺廉吉（高岡高商研究論集昭19）

五箇山部落 石井逸太郎（富山県新誌所収昭24）

羽幌町平部落開拓史 平武雄著

（自刊昭27・北海道を探る創刊号昭57）

観光の五箇山 平村役場編（昭28）

大家族制度の研究 米沢康（五箇山研究ノート昭29）

庄川に学ぶ 米沢康（五箇山研究ノート昭29）

山村の変容過程—越中五箇山の場合

村松繁樹（人文地理7—1昭30）

五箇山山村の研究—富山県東砺波郡平村

（人文地理学会編地域調査柳原書店刊昭30）

本編は大阪市立大学地理学教室が、昭和二十七年より継続して実施した五ヶ山調査の報告である。教授および学生の班別調査と研究が、主題ごとに発表されている。

五箇山平村の地理的性格
部落構造・共同労働・山林共有地について
水田の形成からみた山村の体系

村松 繁樹
岩田 慶治
水津 一郎

- 越中の庄川峡谷 佐藤伝藏（地学雑誌大6）
- 五箇山三村の窮状（富山自治昭7）
- 越中五箇山及び飛驒白川地方に於ける家族構成の研究 小山隆（高岡高商研究論集第6卷第2号昭8）
- 越中五箇山の山間聚落の生活 小寺廉吉（地理学評論10—6昭9）
- 越中五ヶ山の生活 小寺廉吉（地理学評論10—5昭9）
- 越中五箇山の内の梨谷聚落の研究—明治以前 小山隆（地理教育創刊十周年記念号集落地地理学昭9）
- 五箇山地名考 松永安道（井波図書館館友6—8昭10）
- 越中五箇山に於ける住の研究 正木隆次郎（高岡高商研究論集開校十周年記念号昭10）
- 越中農家の形態圈的区分—五箇山を中心として 越中五箇山に於ける住の研究 正木隆次郎（地理教育創刊十周年記念号昭10）
- 観光地としての五ヶ山 小寺廉吉（エコノミストトヤマ1—1昭10）
- 越中五箇山に於ける家族の変遷 君塚 進

和紙製造と五箇山の生活史

渡辺 久雄

五箇山にいたるまで—一つの反省

川喜田二郎

山村の孤立性—莊川白川と五箇山

飛驒白川大家族制の歴史的考察 多賀秋五郎（越飛文化10号昭38）

小寺廉吉（現代地理講座2昭31）

須山洋子（富山県地学地理学研究論集第4集昭39）

山村の一断面—利賀村について

小山隆（越飛文化11号昭39）

新田隆信（富山大学経済学部論集12昭32）

祖山と平瀬—電源開発の地域社会に及ぼす人口学的影響

越中五箇山—梨谷集落の研究

石崎直義（越中史壇第30号昭40）

小寺廉吉（富山県の地理学的研究第1集昭33）

山村人口の社会的移動—五ヶ山地域の人口流出について

僻地における衛生状態の現状とその改善策

三国一義（富大経済論集14卷3・4号昭44）

立村森男（越飛文化7号昭34）

五箇山観光客の実態 富山県平村・上平村編（昭44）

五箇山往来を覗く 大田栄太郎（越飛文化7号昭34）

変わりゆく五箇山山村

大家族制の経済的基礎 米沢康（五箇山研究ノート昭34）

高木幹雄（ミネルヴァ書房日本の村落と都市昭44）

総合開発における地理学的な若干問題—庄川流域の事例

平村の觀光案内 平村教育委員会編（昭45）

小寺廉吉（地理第4卷第12号昭34）

五箇山谷の変容 新藤正夫（日本地誌10二宮書店刊昭45）

成果をあげる虹鱒の共同ふ化所—五箇山養鱒組合

白川郷と越中五箇山郷

（新しい村づくり全国農山漁村振興協議会刊昭35）

桜井正信（山国の街道と秘境文化有峯書店刊昭46）

秘境の五箇山雜記—利賀村と水無について

雪が地域住民の生活に与える影響

葉山縁一郎（産業の富山10の9号昭36）

竹内伸一ほか（地域開発問題研究三集昭46）

山村の生活—五箇山の利賀村を例として

五ヶ山の生活史とその高度成長下の動向

吉沢孝治（自然と社会27・28号昭37）

宮口侗廸（地域開発問題研究二集昭47）

五箇山・平村 村松繁樹

西陣織物と利賀村出身者 石崎直義（富山史壇第52号昭47）

（日本集落地理の研究第五章ミネルヴァ書房刊昭37）

宮口侗廸（越飛文化16号昭47）

平村觀光開發計画概要書 平村編（昭47）

五ヶ三村の姓と屋号 高田善太郎（贊写昭48）

低山村におけるマイクロバスブームの背景

中尾俊雄（地域開發問題研究三集昭48）

利賀村と旧大長谷村—行政上の地域指定による山村の変容の対

比 古川春夫（地域開發問題研究三集昭48）

平村のレクリエーション開発構想

平村レクリエーション開発構想研究会編（昭48）

富山県山間部における過疎化の進行と過疎地域における特例的

集落の研究 宮口侗廸（富山県經濟月報昭48・6月号）

山村成立の歴史と民俗—富山県における事例

石崎直義（地方史研究17号昭49）

利賀村のプロフィール 宮口侗廸（地理19卷6号昭49）

五ヶ山の生活 宮口侗廸（地学19卷7号昭49）

富山県における焼畑とその将来性

本多啓七（富山県地学地理學論集6集昭49）

山間地域における村落の性格把握についての一試論

宮口侗廸（富山県地学地理學論集第6集昭49）

富山県山間部における過疎化の進行と過疎地域における特例的

集落の研究 宮口侗廸（地域開發問題研究4集昭49）

越中五箇山の觀光開發—利賀村・平村

太田博太郎・中村幸安（山村振興調査会刊昭49）

山間集落の生活体系の一考察

宮口侗廸（地理學評論48卷3号昭50）

高度成長期における庄川上流地域の就業の実態について

宮口侗廸（早稻田大教育學部學術研究25号昭51）

東海北陸道（五箇山地区）建設効果調査

（建設省北陸地方建設局富山工事事務所刊昭51）

北陸の一山村社会における人口流失と舉家離村者の生活—利賀

村 山口素光（富大日本海經濟研究所研究年報1昭51）

北陸の一山村社会における人口流出と舉家離村者の生活—八尾

町大長谷の場合 山口素光（富大日本海經濟研究所年報1昭52）

北陸における山村社会の変動と住民の生活（その1）—利賀村

の場合 山口素光（富大日本海經濟研究所研究年報1昭53）

北陸の一過疎山村における地域開發と住民の生活(1)—利賀村百

瀬川の場合 山口素光（富大經濟論集24—3昭54）

富山県東砺波郡平村下出・高草嶺・東中江・入谷実態調査報告

書—家族と村落の構造とその変容 第一〇号（札幌大學社會

學演習・研究部刊昭54）

目次 第一章 調査の課題と方法。第二章 平村下出・高

草嶺・入谷・東中江の北海道移住。第三章 平村下出・高草
嶺・入谷・東中江の概況。第四章 通過儀礼。第五章 家族
の構造。第六章 村落の構造。第七章 言語

札幌大学宮良高弘教授の教育ゼミナールは、家族と村落の構造とその変容を調査テーマにあげて、母村と北海道移住村との比較研究を続いている。

本報告書は、平村四部落（母村）を対象に、昭和五十三年夏、指導教授と学生二十七名が民家に合宿して面接書きとりをなしたもので、他に類のない詳細な民俗調査報告書の性格を兼備している。

移住村羽幌町平地区の調査は翌年実施され、報告書第一号が刊行された。

村を考える 平村役場編刊（昭54）

五箇山（平村中部・北部）観光診断調査報告書

浅香幸雄（平村役場刊昭54）

五ヶ山山村における屋敷配置と村落構造

山田正浩（愛知県立大学文学部論集28巻昭54）

五箇山を考える 小寺廉吉（地理24巻7号昭54）

五箇山山村研究センターの開設と村づくり

圖書恒遠（地域開発182号昭54）

北海道苦前郡羽幌町平地区実態調査報告書—家族と村落の構造とその変容 第一一号（札幌大学社会学演習・研究部刊昭55）

目次 第一章 調査の課題と方法。第二章 北海道移住—通過儀礼。第五章 家族の構造。第六章 村落の構造。第七

第一節 富山県平村出身者。第三章 羽幌町平の概況。第四章 通過儀礼。第五章 家族の構造。第六章 村落の構造。第七

章 言語—移住村における言語変化

平地区一〇三戸のうち平村出身者三八戸について、前年調査の母村同様に調査を実施。比較社会学の見地から研究がなされた報告書である。

付記 同ゼミの富山県内母村調査報告書は、第九号西砺波郡福光町坂本外二地区、昭53刊。第一二号下新川郡入善町目川外二地区、昭56刊がある。

残る五箇山の習俗—母村と北海道移住村との比較研究

佐伯安一（北日本新聞昭55、7、3）

開拓村落における講組織の形成と母村の文化的背景その1、そ

の2 鷹田和喜三（拓殖大学論集132号昭56・137号昭57）

五箇山観光案内 高桑敬親（自刊）

富山県過疎地域振興方針 富山県刊（昭55）

平村総合計画書 平村役場編刊（昭56）

平村総合計画書（実施計画）平村役場編刊（昭56）

平地区コミュニティづくり計画書 同推進協議会刊（昭57）

五箇山からの北海道移住の背景

鷹田和喜三（拓殖大学研究年報一号著者論文の第二章昭57）

10 社寺・真宗・一向一揆

越中国砺波郡五ヶ山の真宗

笠原一男（一向一揆の研究山川出版社刊昭37）

養照寺（新川郡舟見組）由緒書ひかえ（弘化2年）

飛驒国白川中野村照蓮寺由来物語記（東赤尾村中村三郎平写明20）

文明年間加越一向宗一揆の飛驒に及せる影響

岡村利平（飛驒史壇4—1大7）

下梨瑞願寺雜考 寺野宗孝（空華2—3昭13）

總如上人伝 寺野宗孝著（越中真宗史編纂会刊昭18）

中世村落における真宗教団の發展と一揆運動の必然性

笠原一男（歴史学研究135昭23）

越中に於ける一向一揆 寺野宗孝（越中史壇第7号昭31）

川と宗教と文化 米沢康（五箇山研究ノート昭31）

蓮如による本願寺の發展 寺野宗孝（越中史壇第8号昭31）

越中真宗寺院の領主化 木倉豊信（越中史壇第8号昭31）

毛坊主の一例 米沢康（五箇山研究ノート昭32）

五ヶ山漆谷道場の人々 岩佐虎一郎（農業北日本昭34）

文明十三年の越中一向一揆について

新行紀一（日本中世史研究2昭35）

中世末北陸における真宗寺院の本末関係について
大桑斎（近世仏教4昭36）

五箇山十日講文書覚書 米沢康（越飛文化9号昭37）
一向一揆の研究 笠原一男著（山川出版社刊昭37）

中部日本山岳地帯の宗教—五箇山における真宗道場の形態

千葉乗隆（竜谷史壇51号昭38）

寺院一覧—旧砺波郡 西野文雄（譜写刷昭38）

道宗覚書 柏原祐泉（越飛文化13号昭40）

真宗五ヶ山史 高桑敬親著（譜写自刊昭41）

真宗五ヶ山史 高桑敬親著（譜写自刊再版昭42）

神社改書上帳—宝暦九年（中越郷土叢書18集昭42）

持宮書上帳—文政七年（中越郷土叢書18集昭42）

教如上人と空勝僧都 山下宗八（城端別院善徳寺刊昭42）

一向一揆の研究 井上銳夫著（吉川弘文館刊昭43）

井上銳夫（一向一揆の研究吉川弘文館刊昭43）

中部日本の真宗 千葉乗隆著（吉川弘文館刊昭46）

越中五箇山の真宗
千葉乗隆（中部日本社会の真宗吉川弘文館刊昭46）

一向一揆と門徒共和国 井上銳夫（思想の科学121号昭46）

蓮如一向一揆 笠原一男・井上銳夫著（岩波書店刊昭47）
天十物語、道宗覚書を収載する

天十物語、道宗覚書を収載する

中世庶民仏教史のひとこま—妙好人道宗の歴史的背景

高瀬重雄（富山史壇第56・57合併号昭48）

井波瑞泉寺の真宗勢力 笠原一男（歴史読本昭48）

真宗王国―富山の仏教 坂井誠一著（巧玄出版刊昭49）

一向一揆 奥田淳爾（真宗王国富山の仏教巧玄出版刊昭49）

越中真宗年表 久保尚文（真宗王国富山の仏教巧玄出版刊昭49）

五箇三ヶ村の神社一覧 高田善太郎（びぞん通信昭52）

域端別院善徳寺の宝物 長島勝正（富山新聞昭54、2、22）

田屋川原の戦いに五箇山勢三百人 瑞泉寺記録帳

（井波町史上卷昭45）

瑞泉寺の退転と一向一揆の終焉（井波町史上卷昭45）

越中五ヶ山円淨寺由来記 高桑敬親（自刊）

本願寺綽如上人と五箇山蓮如上人と赤尾道宗

高桑敬親著（自刊昭47）

東本願寺争乱が起きたことによりいろいろ考へさせれる宗教上の

問題 高桑敬親（自刊昭51～52）

大谷派本願寺争乱A～H 高桑敬親（自刊昭51・52）

東本願寺争乱と宗派 高桑敬親（自刊昭54）

五ヶ山圓心の記 竹中邦香（越中遊覽志明21）

五箇山に於ける大家族住宅の建築について

佐藤宮雄（建築雑誌56～68昭17）

寢所（チヨダイ）の研究 高島掬翠（高志人124昭23）

11 文化財・民家（合掌造り）

白山宮修理工事報告書（越中白山宮奉贊会編刊昭29）

庄川上流切妻造りについての一推論

城戸久（日本建築学会論文集54昭31）

越中五ヶ山における合掌造りの古代民家

慶野巖一（富山県建築士会刊昭31）

富山県五ヶ山民家予備調査報告書

伊藤延男著（文化財保護委員会刊昭31）

合掌造り民家の成立と崩壊 米沢康（五箇山研究ノ1ト昭32）

合掌造り民家覚書 米沢康（五箇山研究ノ1ト昭32）

合掌造り民家の移築 米沢康（五箇山研究ノ1ト昭32）

五箇山地方の建築について 伊藤延男（富山県郷土史会刊昭33）

五箇山の合掌造りと水見大窪大工 橋本芳雄（富山教育45号昭33）

五箇山の国宝合掌造りについて 高桑敬親（富山教育45号昭33）

上梨白山宮本殿 松本太作（富山県の文化財1昭36）

白川郷五箇山の民家資料 米沢康（加能民俗5～7昭36）

合掌造り民家と大家族制度 江馬三技子（越飛文化8号昭36）

合掌造り民家研究の課題 米沢康（五箇山研究ノ1ト昭36）

五箇山に対する成立の年代―民家研究検討の時期

米沢康（北日本新聞昭36、8、21）

合掌造り民家の文献資料 米沢康（五箇山研究ノ1ト昭36）

五箇山・白川郷民家関係文献目録 米沢康（越飛文化9号昭37）

越中國五ヶ山の合掌造りの民家 高桑敬親著（謄写自刊昭37）

越中五ヶ山の合掌造りの民家 高桑敬親（自刊昭37、7）

羽馬家住宅修理工事報告書（富山県編刊昭38）

史跡越中五箇山相倉集落保存管理計画策定報告書
(平村刊昭52)

飛越地方民家研究ノート—飛越の旅

石原憲治（越飛文化9・11号昭37・39）

飛越秘境白川郷と五ヶ山の合掌造りの研究—古代編

高桑敬親著（謄写自刊昭38）

民家の旅—五箇山 川島寅次著（人物往来社刊昭38）

越中の古彫刻—五ヶ山 長嶋勝正（越中史壇第28号昭39）

飛越秘境白川郷と五ヶ山の合掌造りの研究・続

高桑敬親著（謄写自刊昭40）

越中五ヶ山の家 川島寅次（新住宅223・227昭41）

図説 富山県の文化財—県指定編（富山県教育委員会編刊昭41）

図説 富山県の文化財—国指定編（富山県教育委員会編刊昭42）

富山県の民家（富山県教育委員会刊昭45）

合掌造り—くらしと風土 岩田慶治著安達浩写（淡交社刊昭45）

村上家住宅修理工事報告書（富山県編刊昭46）

村指定文化財資料編 平村教育委員会編（昭47）

合掌造り民家の変貌 平村教育委員会編（昭47）

日本民家探訪—五箇山合掌民家 杉本尚次（大坂創光社刊昭49）

村上家（越中百家上巻富山新聞社刊昭49）

富山県の合掌住宅—第一報二報—その史的考察、その生産的役割

新福祐子（家政学雑誌26巻昭50）

著名は昭和二十年二月、家族をつれて五箇入りをして約四年間留った。代用教員から一躍小中学校長に昇格。戦中戦後のきびしい生活体験のなかで、村民と触れ合ったことども、この地方の民俗を書き綴ったのが、この一冊の本に

12 民俗

五箇山におけるお産・こども・玩具

長谷川義平（高志人3—1昭13）

越中五ヶ山の熊と熊取り 金子紹平（山と溪谷68昭16）

富山県五箇山・白川の調査 小山隆（民族学研究17—1昭28）

熊の記録 中島正文（中越郷土叢書2集昭29）

五ヶ山地方の染色法 真田ふみ（民間伝承18—7昭29）

五箇山涅歛風俗覚書 故米沢安立（越飛文化2号昭30）

五箇山と民俗学 米沢康（五箇山研究ノート昭30）

山崎いさんの話 江馬三枝子（女性と経験1昭31）

五箇山のアカシモン 佐伯安一（加能民俗3—7昭31）

若宮と家の盛衰 米沢康（五箇山研究ノート昭31）

五箇山民俗観書 石田外茂一著（凌霄文庫刊行会刊昭31）

日本民家（越中百家上巻富山新聞社刊昭49）

著名は昭和二十年二月、家族をつれて五箇入りをして約四年間留った。代用教員から一躍小中学校長に昇格。戦中戦後のきびしい生活体験のなかで、村民と触れ合ったことども、この地方の民俗を書き綴ったのが、この一冊の本に

なつた。

この書には、高志人誌に連載された小話など、百二十二

編が収載され、民謡を紹介している。

五箇山のトチ 米沢康（五箇山研究ノート昭32）

猪と兔のこと 米沢康（五箇山研究ノート昭32）

熊狩りの話 米沢康（五箇山研究ノート昭34）

五箇山の熊狩りから 米沢康（加能民俗4の12昭35）

越中五箇山の熊と熊取り 金子紹平（越飛文化8号昭36）

五箇山（利賀谷）の産育習俗 玉城成子（越飛文化12号昭40）

五ヶ山の民俗（富大教育学部社会科編刊昭40）

越中の女——五箇山 米沢康（北日本新聞昭42、2、13～17）

天狗の大鋸（田向の大鋸）平山忠治著（大工道具の歴史に収載昭43）

もだえる合掌集落 小坂谷福治著（自刊昭44）

落人の伝承 小坂谷福治著（自刊昭45）

五箇三村の民俗（富山県教育委員会刊昭45）

ななつぶとん 小坂谷福治著（自刊昭46）

越中五箇山三村の民俗（富山県教育委員会編刊昭46）

1 総観 長嶋勝正 2 食制および食生活 長嶋勝正

3 住居 佐伯安一 4 生産生業 高柔敬親 5 交通運輸

長嶋勝正 6 社会生活 米沢康 7 信仰 伊藤曜覽

8 民俗知識 大田栄太郎 9 民俗芸能 娯楽 伊藤曜覽

10 年中行事 高柔敬親 11 人生儀礼 大田栄太郎 12 口

頭伝承 米沢康

富山県教育委員会では、国庫補助を得て二か年にわたり、富山県東砺波郡平村・上平村・利賀村の、いわゆる越中五箇三村の民俗資料緊急調査をおこなった。昭和四十五年平村・上平村を中心とした調査結果を『五箇三村の民俗』と題して中間報告が刊行された。翌四十六年、利賀村を加えて増補され『越中五箇三村の民俗』と書名を改め刊行された。

五箇山の民俗史 小坂谷福治著（自刊昭47）

五箇山に生まれ育った著者によつて書かれた前掲の「もだえる合掌集落」以来、「五箇山の民俗史」は四冊目の刊行となり、一部再録がある。

この一連の刊行は失なわれゆく伝説や民話の採録、古老の生きとりを集めた古老話集にはじまり、著者の郷土研究の深まりにつれて領域がひろがり、村民の視点からみた村民の歴史、あるいは民俗性を取りあげて解説を加え、さらには著者の見解を述べている。

塩硝生産の民具 高田善太郎（民具マンスリー6巻昭48）

富山県民俗学関係文献目録（とやま民俗1～2号昭49）

山村における文化変化の過程——越中五ヶ山桂部落について

松本博行（日本民俗学9号昭49）

五箇山の正月 北村信孝（富山新聞昭50、4）

ジョウバの話 高田善太郎（とやま民俗8号昭51）

富山民俗地図（富山県教育委員会編刊昭52、3）

五箇山地方の「まぶり」 高田善太郎（とやま民俗11号昭52）

五箇山のいろり 北村信孝（びぞん通信47号昭52）

富山県の獅子舞（富山県教育委員会編刊昭54）

奥五ヶ山の村 小坂谷福治著（自刊昭54）

越中五箇山の野兔狩り 天野武（とやま民俗18号昭54）

富山のふるさと料理 粟島文子・佐伯安一・風間耕司（巧玄出版社刊昭54）

縁結び 真田ふみ（とやま民俗19号昭54）

五箇山の家族制度の変遷過程 石沢祐子（日本民俗学127号昭55）

農事伝承と人形山 石崎直義（富山新聞昭55、5、29）

五箇山の冬の仕来たり 石崎直義（加能民俗8の9号昭55）

五箇山庄川筋の祭 高桑敬親（贈写自刊）

ミチフミの札—越中五箇山の事例

佐伯安一（雪と生活創刊号昭55）

ハネツキとアナイレー—五箇山の雪中の遊び

佐伯安一（雪と生活第2号昭56）

米沢康（五箇山研究ノート昭31）

筑子唄と五箇山 篠原敬親（自刊昭31）

井波瑞泉寺木遣り歌 長谷甚六（利賀村公民館刊昭31）

13 民謡・芸能

五箇山の神樂踊・筑子唄（史料通信叢書第一編明26）

踊の今と昔—コキリコ踊・田楽・舞々

柳田国男（人類学雑誌27卷1～5号柳田国男全集第7巻明44）

コキリコの竹について 米沢安立（郷土研究1～3大2）

五箇山地方の民謡 高桑敬親（越中郷土研究1～9号昭12）

越中五ヶ山の民謡 小寺廉吉ほか（高志人6～6の11号昭16）

越中五ヶ山の民謡 (一)(二)(三)(四)

高桑敬親・小寺廉吉（ひだびと11～12・12～12・3・昭18～19）

五箇山の民謡 高桑敬親（自刊昭21）

飛越秘境五箇山之民謡解説 高桑敬親著（自刊昭23）

五箇山民謡之研究 高桑敬親（自刊昭24）

むぎや踊—解説（越中五箇山麦屋節保存会編昭28）

五ヶ山とその民謡 高桑敬親著（自刊昭29）

五箇山民謡覧書 故米沢安立（越飛文化創刊号昭29）

小谷の早むぎやに就いて 宮崎重一（越飛文化2号昭30）

日本民謡大觀—中部篇の内 富山県（日本放送出版協会編刊昭30）

麦屋節と平家と麻と—民謡伝説・史実

佐伯安一（雪と生活第2号昭31）

五箇山の民謡 服部竜太郎（日本の民謡の発見昭31）

民謡紀行—五箇山 服部竜太郎（婦人画報昭31）

富山県五箇山の巻—調査研究発表（明治大学日本民謡研究会刊昭34）

コキリコの埋没と発掘 米沢康（五箇山研究ノート昭34）

お小夜物語と麦屋節 門前町社会科研究会編（門前の歴史昭37）

麦屋節考 長岡博男（越飛文化10号昭38）

五ヶ山筑子唄解説 高桑敬親（自刊昭38）

民謡論集—富山県五箇山地方

（明治大学日本民謡舞踊研究会刊昭39）

筑子踊・麦屋節 中山義雄（日本の民謡日本文芸社刊昭39）

越中古謡について 和田徳一（富山新聞昭40、8～9）

麦屋節追考—さよの生涯 長岡博男（越飛文化13号昭40）

越中五ヶ山の筑子唄解説 高桑敬親（自刊昭40）

古代民謡田楽筑子唄の起源を考察 高桑敬親著（自刊昭41）

古代民謡越中五ヶ山の田楽筑子唄の起源を考察・追補

高桑敬親著（自刊昭42）

北嶺五ヶ山と古代むぎや歌の考察 小原為治（自刊昭43）

わらべうた 平村教育委員会編（昭43）

武田静澄（落人伝説の旅社会思想社刊昭44）

麦屋節とこきりこ 五十嵐精一（北陸中日新聞昭44、8、29）

古代民謡田舞と田楽筑子唄の起源推考・再補

高桑敬親著（五ヶ山筑子唄保存会刊昭45）

古代民謡筑子の起源考 高桑敬親著（五ヶ山筑子唄保存会刊昭45）

ちよんがれ読本—石山合戦（平村青年団譜写刊昭45）

ちゃんがれ読本—目蓮尊者（平村青年団譜写刊昭45）

五箇山の民謡（平村青年団譜写刊昭45）

富山のわらべ唄—呉西地方篇 長田陶吉（富大児童文学刊昭46）

富山県古楽民謡採録採譜事業中間報告 其の一、其の二

（富山県教育委員会刊昭47・48）

越中五箇山正調麦屋節三味線譜録 滝本藤三郎（自刊昭47）

五ヶ山の民謡 山崎宗義（自刊昭48）

日本民謡の旅第一巻—越中五箇山

服部竜太郎著（河出書房新社刊昭48）

五箇山の民謡集 高桑敬親（茶木素行刊昭48）

五箇山の盆おどり唄とわらべうた 坂本秀盛（自刊昭49）

五ヶ山の民謡—昭46～48採譜調査報告

井野辺潔（大阪音楽大学研究紀要12号昭49）

五箇山民謡—伊勢太神楽・綾子舞

井野辺潔（大阪音楽大学研究紀要12号昭49）

筑子の起源考・続編 高桑敬親（自刊昭50）

古謡と世相—山村人口の流失 鍛冶勇誠（富山新聞昭50、12、28）

富山県の民謡 黒坂富治著（北日本新聞出版部刊昭55）

平越中獅子舞の源流と母村五箇山との交流

青山芳雄（北海道を探る創刊号昭57）

草島踊と五ヶ山追分踊（越中五ヶ山民謡保存会譜写）

筑子踊—莊園と田楽 高桑敬親（自刊昭30）

越中五ヶ山の民謡 高桑敬親（自刊）

五箇山民謡集 高桑敬親（自刊）

平村の獅子舞 高桑敬親（自刊）

五ヶ山筑子唄解説—五ヶ山民俗研究 高桑敬親（自刊）

五ヶ山筑子唄解説—五ヶ山民俗研究 高桑敬親（自刊）

14 言語・昔話・民話・伝説

越中五箇山の方言 米沢安立（東京人類学会雑誌253明40）

五箇山方言の土俗民俗学的研究 高桑敬親（下梨小学校刊昭12）

農村語彙—五ヶ山 長谷川知己（越中郷土研究1昭12）

方言研究 下梨小学校編（昭29）

人形山の伝説 米沢康（五箇山研究ノート昭31）

五箇山の伝説 米沢康（五箇山研究ノート昭31）

五箇山の方言 石田外茂一（民俗1—4昭32）

五箇山民俗観書を通読して

高桑敬親（富山県立図書館参考室月報26昭32）

砺波民俗語彙 佐伯安一著（高志人社刊昭36）

大勘場地区方言の一考察 杉本富子（越飛文化8号昭36）

へき地の方言（レコード付）—平村上梨

（日本放送出版協会編刊昭42）

赤尾谷 昔むかし（西赤尾校下育友会刊昭43）

とがむらの昔話（利賀村教育センター編刊昭45）

越中民話のふるさと 米沢康（北日本新聞昭45、1~3）

富山・石川・岐阜県境地帯における「螢袋」の方言分布とその

解釈 真田信治（良文1号昭45）

富山・岐阜・石川県境地帯における蛙をめぐる語の歴史と体系

真田信治（国語学研究第10集昭45）

富山県庄川流域におけるズーズー弁の分布とその解釈

川本栄一郎（金沢大学語学文学研究2号昭46）

富山県利賀谷におけるアクセントの動態二拍名調

真田信治（文芸研究68号昭46）

平のみんわ 福野高校平分校文芸クラブ（刷昭46）

利賀の民話 上巻（利賀村教育センター編刊昭47）

越飛国境地帯に於ける方言の分布

真田信治（越飛文化16号昭47）

富山県庄川流域におけるワとバの分布とその解釈

川本栄一郎（国語学研究12号昭48）

越中五ヶ山郷における待遇表現の実態

真田信治（国語学93号昭48）

富山県庄川流域における「がんもどき」の方言分布とその解釈

川本栄一郎（金沢大学語学文学研究4号昭48）

富山県庄川流域における「がんもどき」が行子音の分布とその
解釈 川本栄一郎（金沢大学教育学部紀要、社会教育人文22号）

昭
48

越中五箇山方言語彙

- (1) 衣食住に関する事ば
 (2) 動植鉱物に関する事ば
 (3) 身体病気に関する事ば
 (4) 社会生活に関する事ば
 (5) 天象地象に関する事ば
 (6) 人間親族に関する事ば
 (7) 作業および遊戯に関する事ば
 (8) 時間空間に関する事ば

五箇山（上平村）出身の著者が、幼少の頃より多年使い慣れたことばを、分類別語い五十音順に挙げて、方言と共通語の両面から分析解説してある。方言については、使用例を示すなど細心の注意がはらわれている。

発表は分冊の形でなされているが、五箇山方言語い集成をめざした五箇山言語の基礎資料である。

利賀の民話（利賀村民族文化研究所刊昭49）

越能飛の小夜伝説—歴史と伝説の問

田中喜男（地域と文化2号北国出版社刊昭49）

方言の語彙体系について—五箇山方言の樹木名語彙を例として
 真田信治（福山女学園大学研究論集6昭50）

飛越国境地帯におけるチョーダイ（寝室）という語について

真田信治（東海学園国語国文8昭50）

富山県方言の一研究—富山県方言にみられる「が」音について

宮崎静子（米沢国語国文2昭50）

加越能国境地帯の方言分布

川本栄一郎(金沢大学教育学部紀要23昭55)

五箇山民話の諸相 石崎直義（ひそん通信41暗55）

富山県西南部方言の「イ段音」「ウ段音」「レ」の無声母音内破音化と

の関連において 下野雅彦 (国語学研究1985年5月号2、3、4)

五箇山ことは 五船辰男（新日本新聞社） 5月23日

北陸方言の新語彙 真田信治

越中五箇口に於ける表現の変遷
　　真田信一（論集日本語研究）大蔵館刊昭3

眞田信満（語集）
五箇山万言使用者としての一個人の所有する人称語彙

真田信台（金尺大学語学文学研究8昭53）

地域語への接近＝北陸をフィールドとして

真田信治著（秋山書店刊昭54）

越中五ヶ山郷における待遇表現の実態

真田信治（有精堂論集日本語研究9）

五箇山説話 小山隆（高岡高商「学友会誌」）

五箇山の昔話—平村の巻・上平村の巻

(五箇山觀光協會刊昭55)

飛越国境地帯におけるチヨーダイ（寝室）という語について

15 教育・人物・伝記

西赤尾のたより—こともの心へき地はない

安カ川甚治著（自刊昭44）

死の信仰—赤尾道宗

山折哲雄（日本仏教思想論序説、三一書房刊昭48）

郷土に輝く先人集—水上善治・鉢蠟清香・高田聰二・鳴田清憲

平村教育委員会編（昭47・48）

会員名簿 平中学校（平中学校同窓会刊昭52）

校友は今ここに—新校舎落成記念誌（東中江小学校後援会刊昭54）

新校舎落成記念事業、芳志者名簿（東中江小学校後援会刊昭54）

平分校三十年のあゆみ 平分校同窓会創立三十周年記念事業特

別委員会編（富山県立福野高校平分校刊昭55）

明治維新的五ヶ山開発の二大功労者初代水上善三郎と生田長四

郎の自叙伝 高柔敬親（謄写自刊）

郷土の義人長崎茂右エ門伝（利賀小学校刊）

古田紹欽（井波町立図書館蔵書丁¹⁸⁶—5）

妙好人赤尾の道宗について

桂分校よさようなら 寺崎満雄著（自刊昭47）

統合十周年的歩み

下梨小学校（下梨小十周年記念事業委刊昭57）

蓮如と道宗 成瀬昌示作詞、筑前琵琶楽曲名（富山県の民謡昭54）

桂分校よさようなら 桂分校よさようなら 寺崎満雄著（自刊昭47）

水上善治と鉢蠟清香 石崎直義（郷土に輝く人々第4集昭47）

赤尾の道宗 古川哲史（理想的日本人、毎日新聞社刊昭47）

富山県教育のあゆみ（富山県教育研究所編昭47）

赤尾の道宗 橋川正（佛教研究7—12大15）

行者道宗 岩倉政治著（増進堂刊昭19）

教育八十年史 下梨小学校（謄写刊昭28）

教育八十年記念誌（平村教育委員会編刊昭29）

上平村教育八十年略史（上平村教育委員会編刊昭30）

砺波教育八十年史（砺波教育八十年史刊行会編集部編刊昭31）

赤尾の道宗 岩見護著（永田文昌堂刊昭31）

平中学校会誌 創刊号（平中学校同窓会刊昭32）

水上善治翁（水上善治翁顕彰会編刊昭33）

赤尾の道宗 井上銳夫（真宗史概説平樂寺書店刊昭38）

赤尾道宗 塚原真月（郷土に輝く人々第三集昭45）

水上善治翁（水上善治翁顕彰会編刊昭34）

妙好人赤尾道宗 鈴木大拙（日本の名著中央公論社刊昭45）

妙好人道宗の位置 柏原祐泉（近世庶民佛教の研究法藏館刊昭46）

中世末期の光点—赤尾道宗 山折哲雄（春秋121号昭46）

富山県教育史 上・下巻（富山県教育委員会編刊昭46・47）

桂分校よさようなら 桂分校よさようなら 寺崎満雄著（自刊昭47）

水上善治と鉢蠟清香 石崎直義（郷土に輝く人々第4集昭47）

赤尾の道宗 古川哲史（理想的日本人、毎日新聞社刊昭47）

富山県教育のあゆみ（富山県教育研究所編昭47）

桂分校よさようなら 桂分校よさようなら 寺崎満雄著（自刊昭47）

水上善治と鉢蠟清香 石崎直義（郷土に輝く人々第4集昭47）

赤尾の道宗 古川哲史（理想的日本人、毎日新聞社刊昭47）

富山県教育のあゆみ（富山県教育研究所編昭47）

16 紀行・随筆・小説・詩歌

参考文献図書目録

- 五箇山を過ぎる 柳田国男（北國紀行明42）
- 五ヶ山旅行記 大地義治（富山県教育会雑誌85大9）
- 戯曲・大槻伝蔵 室生犀星（新潮大15、7月号）
- 南北分水嶺を越えて—附庄川問題の真相 小原喜三郎著（千草書房刊昭7）
- 五箇山・白川探訪記 小山隆（郷土芸術2卷12号昭8）
- 短歌・五箇山ゆき—庄川湛水 小又幸井（富山自治78昭8）
- 五箇山紀行 中村慶三郎（昭9）
- 春の雪の五ヶ山 小寺廉吉（エコーミストトヤマ1—3昭10）
- 五ヶ山紀行 氏家竹軒（富山県立図書館蔵昭11）
- 赤尾谷・桂見聞 最上孝敬（ひだびと4—11、5—1—3昭11—12）
- 庄川をさかのぼる 矢野蓬矢著（高志書房刊昭14）
- 五箇山平村を訪ぶ 加藤宗厚（高志人7—3—4昭17）
- 五箇山紀行 翁久充（高志人8—11昭18）
- 流木 高見順（流れ藻円項書房刊昭21）
- 秋の五ヶ山 北川楊村（高志人131132昭23—24）
- 東北・北陸の旅—五ヶ山 バーナード・リーチ（旅繪日記昭28）
- 越中五箇山の印象 岩間太郎（名古屋堂林署発行みどり昭29）
- 輪島のお小夜 高道正信著（上平村観光協会刊昭31）
- 故郷の山河 源氏鶴太（小説新潮昭31、8月号）
- 五箇山を繞る追想 片口江東（高志人217昭31）
- 庄川峡の民謡をたずねて 高柳金芳（旅行春秋一一八昭32）
- 五箇山白川印象記 椿宏治（越飛文化5号昭32）
- 五ヶ山初秋 青木浩雲（高志人24号昭33）
- 五箇山への旅 (一)(二) 直良信夫（越飛文化5昭32 越飛文化6昭33）
- 五箇山哀話 高道正信著（五箇山観光協会刊昭32）
- 五ヶ山の生活回顧 高桑敬親（富山県の地理学的研究第一集昭33）
- 五箇山で忘れられたもの 米沢康（五箇山研究ノート昭34）
- 五箇山とその生活 石黒連州（民芸79号日本芸術協会昭34）
- 五箇山の春の雪 米沢康（五箇山研究ノート昭35）
- 五箇山の旅 米沢康（五箇山研究ノート昭35）
- 庄川峠の今と昔 小山隆（僻地の旅修道社刊昭35）
- 越中五箇山の平家部落 宮内寒弥（秘境を行く人物往来社刊昭36）
- 五ヶ山紀行 石原与作（越飛文化8号昭36）
- 飛驛から裏日本へ ブルーノ・タウト（日本美の再発見 岩波書店刊昭39）
- 五箇山印象記—三十年前の利賀旅日記 林宏（越飛文化11号昭39）
- 五箇山紀行—山ノ神峠と水無谷 小川のり子（越飛文化11号昭39）
- 庄川を下る（北日本新聞15回連載昭40）
- 白山より白川・五箇山へ 広瀬誠（越飛文化12号昭40）

飛驒の白川より越中五ヶ山へ

田部重治（山旅と隨想 世界文庫刊昭40）

五ヶ山文化探訪に參加して 齊藤俊雄（富山教育第535号昭40）

庄川をくだる (一)

田村昌夫・梅沢直正（越飛文化13・14号昭40・43）

庄川峠—上平村紀行 沼田啓太郎（富山考古学連絡紙7昭41）

五箇山の春 稗田董平（越飛文化14号昭43）

五箇山と麦屋節 武田邦澄（落人伝説の旅社会思想社刊昭44）

黒潮の流れの中で—合掌民家の生と死

川添登（筑摩書房刊昭44）

五箇山紀行 外村吉之介著（民芸遍歴朝日新聞社刊昭44）

天保の人びと かつおきんや著（牧書店刊昭44）

五箇山と文学 稗田董平（富山文学の旅北国出版社昭46）

富山五箇山を訪ねて 西川大二郎（日本列島農山漁村その現実3効草書房刊昭47）

五箇山ぐらし—続天保の人々 かつおきんや著（牧書店刊昭47）

街道をゆく—村上家ほか 司馬遼太郎（朝日新聞社刊昭47）

悲恋の五箇山流刑 筆内幸子著（北国出版社刊昭49）

庄川・川の日本史 駒敏郎（流域を紀行する新人物往来社刊昭49）

想ひ出の記—田向の生活回顧 堂本清作（自作昭49）

紀行—五箇山を訪ねて 台蔵了平（校外學習21号昭49）

五箇山の祈り 藤嶽彰英（旅のこころ 刻光社刊昭50）

五箇山郷 加藤賢三（平家落人伝説の旅 朝日ソノラマ刊昭51）

花とりどり人ちりぢり (一) 田上要三（栄光出版社昭52）

地方作家の生涯—輪島のお小夜

高島正信著（フェニックス出版刊昭54）

ジーンズの平家たち 小中陽太郎著（毎日新聞社刊昭54）

利賀村をたずねて（金沢こどもの本研究会編刊昭55）

野菊の露—能登麦屋節考 森山啓著（創林社昭55）

天保義民物語 大場芳郎著（北国出版社刊昭55）

山から声がふってくる かつおきんや著（偕成社刊昭55）

雪の人くい谷—続五箇山ぐらし かつおきんや著（偕成社昭57）

17 統計・調査報告・計画書

統計一覧表 平村（明44～昭24）

政治統計台帳 平村（大5・8～15昭2～9全17冊）

勧業統計台帳 平村（大10～12全3冊）

産業統計台帳 平村（大13～15昭2～16・18～25全26冊）

学事統計台帳 平村（昭7～20全14冊）

行政統計台帳 平村（昭10～14・16～25全15冊）

平村振興計画書 平村（昭13年度指定）

経済更正計画実行費調並びに基礎調査 平村（昭16）

経済更正特別助成金交付申請並びに其の実行費 平村（昭16）

一九五〇年世界農業センサス結果表集約表 平村（昭25）

- 村政要覧 平村（昭25～40）
- 農林水産業生産物統計調査報告簿 平村（昭25）
- 昭和26年度農村建設設計画書 上平村編（昭26）
- 農村建設設計画基礎調査書 平村（昭27指定）
- 平村農村建設設計画書 平村（昭27指定）
- 積雪寒冷單作地帯農業振興計画書 平村（昭27・28・29）
- 林業振興計画 平村・上平村農林振興協議会（昭32）
- 農山漁村振興特別助成事業計画書
- 平村・上平村地域農山漁村振興協議会（昭32）
- 農村振興基本計画書 平村上平村農村振興協議会（昭32～36）
- 自昭和32年度至昭和36年度 農山漁村振興計画書
- 平村上平村地域農山漁村振興協議会編（昭32）
- 農山漁村振興基本計画書
- 平村・上平村農山漁村振興協議会（昭32）
- 上平村林業事情調査 河岡武春外（林業金融基本調査報告44、昭33）
- 振興開発事業実施計画書 平村（昭34）
- 平村編（昭34）
- 地域開発計画書 平村（昭38）
- 平村農業構造改善事業計画資料 平村（昭40）
- 農業構造改善事業計画書 平村編（昭40）
- 年度別農業改善事業実施計画書 平村（昭40～43）
- 農業構造改善事業計画概要並に変更計画書 平村（昭40）
- 年度別農業構造改善事業実施計画書 平村（昭41）
- 林業構造改善事業計画書 平村（昭41～43）
- 草地生産力診断資料 平村奥地牧野（昭42）
- 振興山村農林漁業特別開発事業年度別実施計画書 平村（昭43～46）
- 過疎地域振興計画 平村（昭46）
- 平村民所得報告書 平村（昭46～51）
- 平村総合計画基本構想 平村（昭48）
- 平村農業振興地域整備計画書基礎資料 平村（昭49）
- 平農業振興地域整備計画書 平村（昭49）
- 平農業振興地域整備計画の概要 平村（昭49）
- 後期過疎地域振興計画 平村（昭50）
- 山村地域農林漁業特別対策事業年度別実施計画書 平村（昭50～53）
- 第2次林業構造改善事業計画地域指定調書 平村（昭51）
- 第2次林業構造改善事業計画書 平村（昭53～55）
- 活力ある村づくりをめざして 平村（富山県発行昭55）
- 山村開発センター設置事業計画書 上平村平村
- 平村の概要調査 (一) 高桑敬親
- 平村地域防災計画 平村防災会議

平村の概要調査(二) 高桑敬親

砺波地区新庄域市町村圏計画書

砺波広域圏事務組合(昭55)

山村研究年報—第一号開所記念号

五箇山山村研究センター(昭55)

山村研究年報—第二号 五箇山山村研究センター(昭56)

平村総合計画書 平村役場(昭56)

平村総合計画書—実施計画 平村(昭56)

山村研究年報—第三号 五箇山山村研究センター(昭57)

参考文献図書目録

付
高桑敬親著作目錄
(再掲)

		書名・題名		刊行年月		頁数		発刊発行所		収載書名・号				
37	36	35	合掌造り	宗教	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
34	33	32	31	30	29	28	越中五箇山円淨寺由来記	五箇山史談・吉野朝期修補再版	五箇山史談・南北朝期	五箇山史考察	通俗五箇山歴史・五箇山観光資料	昭三一	昭三三	昭三一
五箇山の国宝合掌造りについて	本願寺縛如上人と五箇山・蓮如上人と赤尾道宗	東本願寺争乱が起きたことによりいろいろ考えさせられる宗教上の問題	大谷派本願寺争乱A・H	東本願寺争乱と宗派	真宗五ヶ山史修補再版	真宗五ヶ山史	昭四一	昭五六	昭五三	昭三九	五箇山誌・歴史的背景	昭三八	昭三八	昭三三
越飛秘境白川郷五ヶ山合掌造りの研究、古代編	五ヶ山の合掌造りと水見大窪大工	せられる宗教上の問題	東本願寺争乱A・H	東本願寺争乱と宗派	昭四五、六	昭五一・五二二	昭四二	昭五六	昭五四卯月佳辰	昭四七	五箇山史談	昭四八	昭四八	二三
富山県教育会	富山教育	富山教育	富山教育	富山教育	昭三八	昭三三	昭三四	昭三〇	昭二八	昭三二	孔版自刊	孔版自刊	孔版自刊	五箇山総合調査報告書
"	"	"	"	"	六	三五	一四	四七	一〇二	四二	"	"	"	"
富山教育450														

							書名・題名	刊行年月	頁数	発行所	収載書名・号
56	55 54 53 52 51 50	49 48 47 46 45 44 43	42 41	民謡	40 39 38	越中五ヶ山の合掌造りの民家 越中五ヶ山の合掌造りの民家 飛越秘境白川郷と五ヶ山の合掌造りの研究	昭三七、三 昭三七、七 昭四〇				
古代民謡筑子の起原考 修正追補	古 代 民 謡 筑 子 の 起 原 考 修 正 追 補	五箇山地方の民謡 越中五ヶ山民謡(一)(二)(三) 飛越秘境五箇山之民謡解説 五箇山民謡之研究 五箇山とその民謡 五箇山とその民謡 五箇山踊—莊園と田楽 越中五ヶ山の民謡	昭一二 昭一八、一九 昭二三、七 昭二一 昭二四 昭二九、八 昭三〇								
昭昭四四五二	昭昭四一〇	昭昭三八	昭昭三一		昭昭二九、八	昭昭二四	昭昭二一 昭昭二四	昭昭二三、七	昭昭二九、八	昭昭二一 昭昭二四	昭昭二一 昭昭二四
三一四 五ヶ山筑子唄保存会	二二 五ヶ山筑子唄保存会	一一〇 孔版自刊	一一〇 孔版自刊	八八	五四 高志人社	三〇 九五孔版自刊	" " " " "	" " " " "	" " " " "	越中郷土研究1~9号 ひだびと11~12号 1~3号、小寺共著	越中郷土研究1~9号 ひだびと11~12号 1~3号、小寺共著
		高志人別冊 小寺 正木共著									

		書名・題名		刊行年月		頁数		発行所		収載書名・号	
		民俗	産業	昭三〇、六	昭三、九	昭一三	五孔版自刊	七八孔版自刊	一八孔版自刊		
72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	57
五箇山民俗	五箇山方言の民俗・土俗学的考察	塩硝	五箇山の蚕業	由来五ヶ山和紙の研究	五箇山の和紙	古代民謡田舞と田楽筑子唄の起原推考 再補修正版	筑子の起原考 統編	五箇山の民謡集	五箇山の和紙	五箇山の蚕糸	五箇山の蚕糸
五箇山庄川筋の祭	五箇山庄川筋の祭	五箇山の森林開発と庄川流材	河上糸貢納書のもつ意味	五ヶ山蓑	越中五箇山の蚕糸	五ヶ山蓑	五ヶ山の蚕糸	五ヶ山の和紙	五箇山の蚕糸	五箇山の蚕糸	五箇山の蚕糸
五箇山民俗観書を通読して	五箇山民俗観書を通読して										
昭三一	昭一二	昭四六、三	昭三四、八	昭三四、三	昭三三、八	昭三三、九	昭三三、九	昭三〇、六	昭四五、三	昭四五、七	昭四五、七
二七下梨尋常高等小学校	一二孔版自刊	富山県教育委員会	三八	"	"	"	越中史壇会	越中史壇会	越中史壇	越中史壇	越中史壇
富山県立図書館参考室月報26		第4章	17、18号P76	"	"	13号P84	14号P87	5号P13	18		
			越中五箇山村の民俗	83	35	37	48				
					55						



高桑さんの素顔

表彰状	
あなたは 多年にわたり	郷土
五箇山地方の研究に精勤し	地方
文化の振興に貢献されました	
あなたの功績はまことに顯著で	
ありますよつて銀杯を贈り富山	
県表彰規則により表彰します	
昭和三十九年十一月三日	
富山県知事 吉田実四	

書名・題名	刊行年月	頁数	発刊発行所
73 生産、生業	昭四六、三		富山県教育委員会
74 年中行事	昭四六、三		越中五箇山村の 民俗第4章
その他	昭三三		" 第10章
75 五箇山の生活回顧	昭三四、三		富山県の地理学的 研究／別冊
76 人形山	昭四四、七		四孔版自刊
77 明治維新の五ヶ山開発二大功労者 初代水上善三郎と生田長四郎の自叙伝	"		

略歴

高桑敬親さんは平村上梨に生まれる。富山師範卒業後、大正十五年東中江尋常小学校訓導をふり出しに、三十余年間小学校に勤務。教職のかたわら郷土史研究を続ける。昭和十三年より円淨寺住職。昭和五十六年十一月二十一日病没せられた。

昭和初年五箇山研究にとりかかった頃は、いたるところで研究素材が目に入り、史料発掘、古文書解読、古の聞きとり等、意欲的な探索活動がはじまつた。まず、民謡研究の発刊が先行し、続いて方言研究、五箇山誌稿・五箇山史考と相次いだ。「こきりこ踊」が復活し「民謡のふるさと五箇山」がもてはやされるのも、氏の功績に負うところがおおきい。

民謡研究はずっと続いた。「筑子の原考」をもつて終つたようを見えるが、もし存命なら、さらに追考が世に出たことであろう。また、保存会を発起し会長をつとめた。

次いで研究の方向は、宗良親王研究の五箇山着目を契機として、五箇山の吉野朝史探索に移る。そこから五箇山南朝説が生まれた。

戦後は五箇山史考察を軸にして、史料史実の採集が多岐にわたる。それによって、歴史上の推論・考察が絶え間なく念頭に浮び出て、鉄筆を持つ手が自然に動いたと語られたことがある。考察・誌稿・史考・私考・史談・史話など、類似題名が

つき、執筆年の記載の多いのはこのためである。

合掌造り・真宗史・民俗資料が相次いで脱稿した。

晩年のころ、五箇山史を一冊にまとめられたらと持ちかけると、とうてい一本にまとまらぬと答えられた。一冊一冊が研究成果であり自身の研究史だからであるが、膨大すぎてとても再構成できるものでもなかつた。

刊行物のほとんどは、用紙節約の極細字手書きガリ版印刷である。しかもインクのにじむ五箇和紙だから、読めない箇所の多いのが惜しまれている。

生前、この目録原稿をお目にかけて修正を乞うたが、本人自身でさえ前後の記憶がなく、手持ち本もなく正確を期すことができなかつた。

後世にのこる研究もさることながら、高桑さんの著作に掲載された貴重な史料は、当村史編さんにおおいに役立つた。また今後は、五箇山研究にとって欠かせない史料提供と、出典根拠に挙げられるであろう。

平村史発刊をみないで逝去されたのは惜しまれてならない。
編纂委員高桑敬親先生の略歴を載せて、功績をたたえた。

